

社会資本整備審議会

道路分科会 近畿地方小委員会（第2回） 議事概要

1. 日時

平成23年1月17日（月） 13:30～14:30

2. 開催場所

近畿地方整備局 新館3階 A会議室

3. 出席者

<委員>

山下淳委員長、浦尾たか子委員、中瀬勲委員、藤井聡委員、宗田好史委員

4. 議題

○平成23年度新規事業採択時評価について

対象事業

一般国道163号 木津東バイパス（京都府）

一般国道165号 香芝柏原改良（奈良県、大阪府）

5. 議事概要

○事務局より説明した平成23年度新規事業候補箇所の選定の考え方については、議論の結果、妥当であるとの意見をいただいた。

○事務局より説明した一般国道163号木津東バイパス及び一般国道165号香芝柏原改良については、議論の結果、計画段階評価及び新規事業採択時評価は妥当であり、新規事業化すべきとの意見をいただいた。

<委員からの主な意見>

- ・木津東バイパスについては、木津中央地区のまちづくりも進んでおり、たいへん地域に貢献する道路であり、もっと早く事業化してもよいぐらいの事業である。
- ・新規事業候補箇所の選定においては、様々な角度から考え総合的に判断されているが、急いでやらないといけない事業かどうかということも重要。次回以降の評価時には、事業のスピード感も考慮したほうがよいのではないか。
- ・道路事業にはいろいろな整備効果があるが、B/Cでは走行時間短縮などの3便益のみで評価されている。全国的な課題ではあるが、B/Cの便益には、防災や環境など3便益以外の整備効果が含まれていないことを（例えば、3便益B/Cと呼称する等して）明示するなどの工夫が必要である。